



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社ハピネット 上場取引所 東
 コード番号 7552 URL <http://www.happinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営本部長 (氏名) 柴田 亨 (TEL) 03-3847-0410
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	84,827	17.1	1,761	108.6	1,640	121.1	1,044	217.0
29年3月期第2四半期	72,448	△13.7	844	△54.0	741	△60.1	329	△72.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,961百万円(180.5%) 29年3月期第2四半期 699百万円(△45.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	48.06	46.96
29年3月期第2四半期	14.63	14.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	65,137	33,838	51.2
29年3月期	61,337	32,311	51.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 33,378百万円 29年3月期 31,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	3.4	4,200	13.6	4,000	14.9	2,500	22.5	113.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	24,050,000株	29年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	2,272,950株	29年3月期	2,368,110株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	21,733,840株	29年3月期2Q	22,515,761株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会資料の入手方法について)

当社は、平成29年11月15日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続く中で、個人消費も緩やかに持ち直しており、景気は緩やかに回復することが期待されるものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動への懸念により、先行きは依然不透明な状況で推移しております。

当社グループの関連業界におきましては、ビデオゲーム市場は持ち直しの動きが続いているものの、玩具市場は少子化や消費者ニーズの多様化、映像音楽市場はソフト配信の普及によるパッケージ市場の低迷などにより、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの業績につきましては、ビデオゲーム事業にて任天堂の「Nintendo Switch」及び関連ソフトが好調に推移したことや、映像音楽事業で一部ヒット商品に恵まれたことにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は848億2千7百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は17億6千1百万円（同108.6%増）、経常利益は16億4千万円（同121.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億4千4百万円（同217.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①玩具事業

中核事業であります玩具事業につきましては、バンダイ商品において、9月に放送を開始した「仮面ライダービルド」や「ウルトラマンジード」関連及び女兒ホビー関連が好調に推移したものの、市場全体をけん引するに至らず、売上高は前年同期を下回りました。利益面においては、販売管理費の減少などにより前年同期を上回りました。

この結果、売上高は312億6百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は8億9千1百万円（同16.0%増）となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、映画「君の名は。」や自社幹事作品である映画「キセキーあの日のソビトー」のパッケージが好調に推移し、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は189億3千万円（前年同期比14.6%増）、セグメント利益は3億1千1百万円（前年同期比112.5%増）となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、任天堂の「Nintendo Switch」及び「スプラトゥーン2」などの関連ソフトやニンテンドー3DS・PlayStation4のソフト「ドラゴンクエストXI 過ぎ去りし時を求めて」などのヒットにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は248億5千6百万円（前年同期比73.8%増）、セグメント利益は4億2百万円（前年同期はセグメント損失3千6百万円）となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、カプセル玩具は駅構内や、高速道路のサービスエリアにおける期間限定販売、大型ショッピングモールでの増設など優良ロケーションの獲得により好調に推移したものの、カードゲーム商材が低調に推移したことにより、売上高は前年同期を下回りました。利益面においては、ロケーションの見直しなどにより前年同期を上回りました。

この結果、売上高は98億3千3百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は7億6千1百万円（同18.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ38億円増加し、651億3千7百万円となりました。これは主に、流動資産の増加29億7千4百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ22億7千2百万円増加し、312億9千9百万円となりました。これは主に、流動負債の増加21億4千万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ15億2千7百万円増加し、338億3千8百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加6億1千万円及びその他有価証券評価差額金の増加9億1千1百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました平成30年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,605	12,350
受取手形及び売掛金	28,258	28,884
たな卸資産	6,300	7,885
その他	2,813	2,830
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	48,975	51,949
固定資産		
有形固定資産	777	765
無形固定資産	1,005	1,291
投資その他の資産		
投資有価証券	7,105	8,151
その他	3,483	2,982
貸倒引当金	△9	△3
投資その他の資産合計	10,579	11,130
固定資産合計	12,361	13,188
資産合計	61,337	65,137
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,550	23,646
未払法人税等	624	350
賞与引当金	242	201
その他の引当金	12	11
その他	2,758	3,119
流動負債合計	25,188	27,329
固定負債		
退職給付に係る負債	2,906	2,981
その他	931	987
固定負債合計	3,837	3,969
負債合計	29,026	31,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,784	2,795
利益剰余金	27,054	27,665
自己株式	△1,997	△1,917
株主資本合計	30,592	31,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,167	2,079
繰延ヘッジ損益	△0	4
その他の包括利益累計額合計	1,167	2,084
新株予約権	551	459
純資産合計	32,311	33,838
負債純資産合計	61,337	65,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	72,448	84,827
売上原価	62,911	74,561
売上総利益	9,537	10,266
販売費及び一般管理費	8,693	8,504
営業利益	844	1,761
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	28	47
その他	15	17
営業外収益合計	43	65
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	142	186
その他	4	0
営業外費用合計	146	186
経常利益	741	1,640
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	27
特別利益合計	0	27
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	30	0
訴訟関連費用	50	—
特別損失合計	80	0
税金等調整前四半期純利益	661	1,667
法人税、住民税及び事業税	183	369
法人税等調整額	148	253
法人税等合計	331	623
四半期純利益	329	1,044
親会社株主に帰属する四半期純利益	329	1,044

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	329	1,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	361	911
繰延ヘッジ損益	7	5
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	369	916
四半期包括利益	699	1,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	699	1,961
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	661	1,667
減価償却費	213	165
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△90	△41
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	85	75
受取利息及び受取配当金	△28	△48
支払利息	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	30	0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△27
為替差損益(△は益)	△2	0
持分法による投資損益(△は益)	142	186
売上債権の増減額(△は増加)	133	△625
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,964	△1,585
仕入債務の増減額(△は減少)	2,772	2,095
その他	853	174
小計	2,795	2,032
利息及び配当金の受取額	28	48
持分法適用会社からの配当金の受取額	44	44
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△396	△624
法人税等の還付額	—	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,470	1,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△197	△63
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△215	△330
投資有価証券の取得による支出	△5	△7
投資有価証券の売却による収入	—	78
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△418	△322
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△1,090	△0
配当金の支払額	△339	△433
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,430	△434
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	608	745
現金及び現金同等物の期首残高	11,412	11,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,021	12,350

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,585	16,516	14,302	10,045	72,448	—	72,448
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,585	16,516	14,302	10,045	72,448	—	72,448
セグメント利益 又は損失(△)	768	146	△36	642	1,520	△675	844

(注) 1. セグメント利益の調整額△675百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△675百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,206	18,930	24,856	9,833	84,827	—	84,827
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,206	18,930	24,856	9,833	84,827	—	84,827
セグメント利益	891	311	402	761	2,366	△604	1,761

(注) 1. セグメント利益の調整額△604百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△604百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。